

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月10日

上場会社名 株式会社横田製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6248 URL <http://www.aquadevice.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 義之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理総務部長 (氏名) 石田 克之 (TEL) 082-241-8674  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	802	6.7	70	△1.6	73	1.6	49	△17.5
2020年3月期第2四半期	752	3.5	71	3.1	71	1.4	59	18.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	26.31		—					
2020年3月期第2四半期	31.90		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,564	2,219	86.6
2020年3月期	2,754	2,245	81.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,219百万円 2020年3月期 2,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,780	2.7	250	1.0	250	0.4	175	△1.2	93.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	1,873,500株	2020年3月期	1,873,500株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	115株	2020年3月期	115株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	1,873,385株	2020年3月期2Q	1,873,385株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、日銀が発表した9月の全国企業短期経済観測調査（短観）によると、新型コロナウイルスの感染拡大で停滞していた世界の経済活動が再開に向かい、企業の景況感を示す業況判断指数（DI）は、大企業製造業ではマイナス27となり前回6月調査から7ポイントの改善となっております。

このような状況のもと、当社は相対的優位性のある既存領域を確保しつつ、技術開発力を高め、既存製品の改良や性能向上による差別化により新たな需要分野への展開・進出を図り、適正な人員配置と組織改革による生産性の向上とコスト削減に注力することにより採算重視の経営に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の受注は、941,448千円（前年同期比11.2%減）となりました。受注が減少した主な理由は、前年同期はポンプ製品の大型案件の受注で受注高が一時的に増加していたためであります。売上高につきましては、802,355千円（同6.7%増）となりました。また、営業損益は、出張自粛による旅費及び交通費の減少などで販売費及び一般管理費が減少したものの、営業戦略品の販売で売上原価率が上昇し、売上総利益が減少したため、70,582千円（同1.6%減）の営業利益となりました。経常損益は、営業利益が減少したものの、主に営業外収益に違約金収入を計上したため、73,086千円（同1.6%増）の経常利益となりました。純損益につきましては、前年同期は評価性引当額としていた一時差異の一部損金算入による法人税等の減少がありましたが、当第2四半期累計期間は同様の処理がありませんでしたので、当第2四半期累計期間の四半期純利益は、49,295千円（同17.5%減）となりました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による売上高や受注高の著しい減少など、新型コロナウイルスの感染拡大による重要な影響は発生しておりません。

当社は、ポンプ及びバルブの製造販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

単一セグメント内の製品別の受注及び販売の実績は、次のとおりであります。

#### [ポンプ製品]

受注は、官公需の受注が増加したものの、電力関連企業、食品関連企業、海外企業からの受注が減少したことなどにより、447,967千円（前年同期比21.3%減）となりました。なお、ポンプ製品の受注が減少した主な理由は、前年同期は大型案件の受注で受注高が一時的に増加していたためであり、当第2四半期累計期間は概ね例年通りの受注水準となりました。売上高につきましては、機械・電子関連企業、食品関連企業、海外企業への売上が減少したものの、電力関連企業への売上が増加したことなどにより、451,266千円（同11.1%増）となりました。

#### [バルブ製品]

受注は、官公需の受注が増加したことなどにより、144,565千円（前年同期比4.5%増）となりました。売上高につきましては、官公需の売上が増加したものの、機械・電子関連企業への売上が減少したことなどにより、74,812千円（同6.0%減）となりました。

#### [部品・サービス]

受注は、官公需の受注が増加したものの、電力関連企業、海外企業からの受注が減少したことなどにより、348,916千円（前年同期比1.0%減）となりました。売上高につきましては、電力関連企業への売上が増加したことなどにより、276,277千円（同3.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末と比較して190,489千円減少し、2,564,287千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少105,069千円、受取手形及び売掛金の減少43,620千円、仕掛品の減少40,205千円、原材料及び貯蔵品の増加16,977千円、投資その他の資産の減少23,762千円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較して164,849千円減少し、344,423千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少65,268千円、賞与引当金の増加32,070千円、未払金の減少136,585千円によるものであります。

また、純資産は、前事業年度末と比較して25,640千円減少し、2,219,864千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上49,295千円、剰余金の配当74,935千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末と比較して105,069千円減少し、1,179,143千円となりました。

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、6,753千円（前年同四半期は15,326千円の減少）となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上73,086千円、減価償却費の計上22,860千円、賞与引当金の増加32,070千円、売上債権の減少43,620千円、たな卸資産の減少17,289千円、未払金の減少135,609千円、法人税等の支払65,381千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、23,429千円（前年同四半期は13,381千円の減少）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出23,429千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、74,886千円（前年同四半期は65,496千円の減少）となりました。これは、配当金の支払74,886千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

未定としておりました2021年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の売上高及び直近の受注残高などを基に合理的な数値の算定ができる状況となりましたので、通期の業績予想を開示させていただきます。

また、2021年3月期の配当予想につきましては、通期業績予想及び財政状態等を総合的に勘案し、期末配当予想を1株当たり40円といたします。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,534,213	1,429,143
受取手形及び売掛金	346,980	303,359
商品及び製品	262	6,201
仕掛品	119,092	78,887
原材料及び貯蔵品	85,345	102,323
その他	2,254	1,529
貸倒引当金	△2,772	△2,426
流動資産合計	2,085,376	1,919,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	57,490	58,298
機械及び装置(純額)	100,722	94,473
工具、器具及び備品(純額)	15,360	16,617
土地	366,082	366,082
その他(純額)	4,926	9,822
有形固定資産合計	544,582	545,295
無形固定資産	4,839	3,760
投資その他の資産	119,977	96,214
固定資産合計	669,399	645,269
資産合計	2,754,776	2,564,287
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	52,207	49,223
未払金	150,984	14,398
未払法人税等	70,805	5,537
製品保証引当金	3,120	3,211
賞与引当金	38,356	70,426
役員賞与引当金	—	6,191
その他	49,729	51,024
流動負債合計	365,203	200,012
固定負債		
退職給付引当金	76,025	73,014
役員退職慰労引当金	68,043	71,396
固定負債合計	144,068	144,410
負債合計	509,272	344,423
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	130,583	130,583
資本剰余金	122,580	122,580
利益剰余金	1,992,466	1,966,825
自己株式	△125	△125
株主資本合計	2,245,504	2,219,864
純資産合計	2,245,504	2,219,864
負債純資産合計	2,754,776	2,564,287

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	752,153	802,355
売上原価	418,018	473,559
売上総利益	334,134	328,796
販売費及び一般管理費	262,432	258,214
営業利益	71,701	70,582
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	80	80
違約金収入	—	3,290
作業くず売却益	944	986
雑収入	835	527
営業外収益合計	1,860	4,884
営業外費用		
売上債権売却損	607	302
売上割引	930	791
固定資産除却損	11	323
雑損失	68	963
営業外費用合計	1,618	2,380
経常利益	71,944	73,086
税引前四半期純利益	71,944	73,086
法人税等	12,175	23,791
四半期純利益	59,768	49,295

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	71,944	73,086
減価償却費	21,170	22,860
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△267	△346
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	86	91
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31,289	32,070
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,239	6,191
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△350	△3,010
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△31,487	3,353
受取利息及び受取配当金	△80	△80
売上債権の増減額 (△は増加)	33,687	43,620
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△51,771	17,289
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,761	△2,983
未払金の増減額 (△は減少)	△27,573	△135,609
その他	△43,019	2,014
小計	27,628	58,548
利息及び配当金の受取額	80	80
法人税等の支払額	△43,035	△65,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15,326	△6,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,521	△23,429
その他	△860	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,381	△23,429
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△65,496	△74,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,496	△74,886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△94,205	△105,069
現金及び現金同等物の期首残高	1,212,733	1,284,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,118,528	1,179,143

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ポンプ及びバルブの製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

区分	生産高(千円)	前年同期比
ポンプ製品	299,137	+7.2%
バルブ製品	39,981	△16.1%
部品・サービス	100,172	△17.3%
合計	439,291	△1.9%

(注) 1 金額は、製造原価によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

区分	受注高(千円)	前年同期比	受注残高(千円)	前年同期比
ポンプ製品	447,967	△21.3%	453,430	△4.9%
バルブ製品	144,565	+4.5%	103,861	+9.7%
部品・サービス	348,916	△1.0%	151,573	+4.4%
合計	941,448	△11.2%	708,865	△1.1%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

区分	販売高(千円)	前年同期比
ポンプ製品	451,266	+11.1%
バルブ製品	74,812	△6.0%
部品・サービス	276,277	+3.7%
合計	802,355	+6.7%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。